

2024年2月8日

各 位

会社名 シンバイオ製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 吉田 文紀
(コード番号: 4582)
問合せ先 副社長執行役員兼 CFO 福島 隆章
(TEL. 03-5472-1125)

減損損失の計上及び通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2023年12月期第4四半期会計期間（2023年10月1日～2023年12月31日）において、減損損失を計上するとともに、2023年11月14日付で公表した2023年12月期通期業績予想と本日付で公表した実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上

2023年12月期において、当社保有の資産（建物、工具器具及び備品、ソフトウェア、敷金）について、減損の兆候が認められたため「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく回収可能性を検討した結果、減損損失として485百万円を計上しました。

2. 2023年12月期通期業績予想と実績値との差異

(1) 2023年12月期通期業績予想と実績値との差異（2023年1月1日～2023年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,603	△680	△549	△1,291	△32.53
実績値 (B)	5,589	△811	△728	△1,962	△49.19
増減額 (B-A)	△13	△132	△179	△671	—
増減率 (%)	△0.2	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2022年12月期)	10,008	1,963	1,999	1,179	30.20

(2) 差異の理由

営業利益については、その減少の主な理由として2023年6月に発生したトレアキシム®の品質不良問題があります。また、研究開発費の増加による販売及び一般管理費の増加により営業利益は前回予想を下回り811百万円の損失となりました。

経常利益については、上記の営業利益の減少に加えて、2023年11月から年度末にかけての急速な円高による外貨建資産の評価減により179百万円減少し728百万円の経常損失となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、「1.減損損失の計上」に記載の減損損失により資産の減損損失485百万円を計上したことにより1,962百万円の当期純損失となりました。

以上